

## 窓口支援事例 【新潟県 知財総合支援窓口】

### 企業情報

#### アーネスト株式会社

所在地	新潟県三条市福島新田丁 858		
ホームページ URL	<a href="http://www.ar-nest.co.jp">http://www.ar-nest.co.jp</a>		
設立年	1981 年	業種	家庭日用品の企画・卸販売
従業員数	80 人	資本金	6,000 万円

### 企業概要

弊社は、一般的によくある商品とは少し差別化したアイデア性の高い調理用品、整理収納用品、洗濯用品などの企画開発・卸販売をする会社です。

2015 年の 6 月で創業 34 年を迎えました。

主な販売先は、最近伸びている TV ショッピング・インターネットをはじめとする大手通販、全国の生協、全国の有力専門店・百貨店などで、常に注目を浴びています。



### 自社の強み

当社では他社に先駆け、可愛いお弁当を彩るキャラ弁グッズを企画・販売し、No1 のシェアを獲得しています。

最近では海外販売の他、海外からの引き合いもあります。

女性の開発スタッフ陣によるデザインと、それを的確に形にする設計陣の両輪が弊社の強みです。

工場を持たないファブレスメーカーなので、その時々のニーズに合わせた新商品をいち早く企画開発し、国内外の最適な委託先で製造しています。



### 一押し商品

2015 年発売の「簡単おにぎらずキット&ケース」は、握らないおにぎり「おにぎらず」を、成形枠と押し具で作って、そのまま持ち運べるケースのセットです。

(意匠登録第 1529078 号)

握らなくて良いので、炊きたての熱々のご飯でもすぐに作ることができ、手を汚すこと也没有。ケースの上で作ってそのまま持ち運べるので、詰める手間も省けます。スリムな形状なので、潰れなくてかさばりません。忙しくて時間の無い時や、行楽のお弁当、夜食などにぴったりです。



### 知財総合支援窓口活用のポイント

#### 窓口活用のきっかけ

特許情報検索アドバイザー時代に数回同社を訪問し、知財制度の概要説明並びに IPDL の検索指導を行いましたが、平成 25 年度に地方銀行から「取引先である同社を支援して欲しい」との要請があり、訪問して知財に対する課題、取組を確認したことがキッカケとなり、継続的に支援することになりました。

#### 最初の相談概要

同社より、海外から輸入されている模倣品について相談があり、侵害していることが判明した場合は権利行使を行い、輸入差止請求を行うようアドバイス（意匠・商標権であれば税関に対する申告も有効）しました。また、海外出願の補助金公募開始前に開催する「知財活用セミナー」や各種知財セミナーへの参加についても助言しました。意匠・商標出願については自己処理を検討していることを聞き、窓口にて出願書類の確認を行うことができるので活用するよう促しました。

#### その後の相談概要

同社は、多種多様な商品の企画・販売をしており、出願書類の作成方法、特許情報の検索方法、権利判断、他者からの権利照会対応など多岐にわたる相談があり、支援開始後に出願した意匠 26 件、商標 11 件はすべて自己処理を行っています。また、デザイン専門家の派遣を受け、デザインに対する取組などのアドバイスも受け、知財スキルの吸収に意欲的です。

#### 窓口を活用して変わったところ

窓口の支援によって出願した案件のうち、意匠 16 件、商標 5 件がすでに登録となっており、新商品の開発に際し、積極的に窓口を活用しています。また、知財担当者も意欲的に新潟県や INPIT 主催の研修会参加や三級知的財産管理技能士の資格取得など、知的財産のスキルアップにも積極的に取り組んでいます。

#### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

差別化した商品が中心の為、調査・申請など PAT に関しては年間かなりのコストを掛けざるを得ない状況でした。昨今の景気状況の中でいかに費用を抑え、効率的に進めたいという思いで知財管理の見直しを行いました。自分で出来ることは自分で行なおうと、事細かく窓口担当の方に相談して、色々なご確認や質問回答など俊敏かつ丁寧なご対応をして頂きました。僭越ですが、今後も良きパートナーとしてご支援を頂きたいと思っております。

#### 窓口担当者から一言 (氏名 : 比企 修)



多種多様な商品を販売しており、それら商品が国内外の企業に注目され、結果として国外、特に中国等による模倣品となって現れ、対応に苦慮されています。模倣品対策には知的財産権の活用が重要であることを認識しているが費用面も含め、効果的な知的財産権の取得・活用を窓口としても専門家と連携し支援していきたいと思います。